

## 「日本は、戦後70年、米国とどのような和解の道を行ってきたか」

久保文明(東京大学法学部教授)

1. はじめに
2. 占領期
3. 講和と日米安全保障条約の締結
4. 安保改定と沖縄返還
5. ニクソン・ショック、貿易摩擦、冷戦終結、そして沖縄
6. 終わりに: 9-11 と 3-11

資料1 アメリカによる寄付(JCIE, Civil Society Monitor, March 2015)

1位	ハリケーン・カトリーナ	\$5.3billion
2位	9-11テロ事件	\$2.8billion
3位	2004年インド洋津波	\$1.9billion
4位	2010年ハイチの地震	\$1.45billion
5位	3-11 東日本大地震	\$737million

資料2 日米世論調査(PewResearchCenter, “Americans, Japanese: Mutual Respect 70 Years After the End of WWII, April, 2015)

アメリカ/日本を信用できるか(yes と回答)

	アメリカ人	68%	日本人	75%
中国を信用できるか	アメリカ人	30%	日本人	7%
日本は地域で積極的な軍事的役割を果たすべきか	アメリカ人	47%	日本人	23%

日本は第二次世界大戦中の行為について十分謝罪したか

日本は十分謝罪した	アメリカ人	37%	日本人	48%
十分謝罪していない	アメリカ人	29%	日本人	28%
謝罪は不要	アメリカ人	24%	日本人	15%